

処方箋には調剤される医薬品が記載されていますが、有効成分の名称で記載して処方することを「一般名処方」といいます。厚生労働省ではジェネリック医薬品の使用促進を図るため、一般名処方を推進しています。銘柄処方では使用できる医薬品が限定されますが、一般名処方であればどのメーカーのジェネリック医薬品でも使用することができます。

一般名処方医薬品の供給が不安定な中であっても、患者様に安定的に医薬品を供給するための方策の一つであり、当院においても一般名処方の推進につとめています。

また、令和6年10月より医療上の必要性があると認められない場合に、患者様の希望を踏まえ、長期収載品を処方等した場合には、後発医薬品との差額の一部が選定医療費として患者様の自己負担となります。選定療養は保険給付ではないため消費税が別途かかります。

商品名で記載



一般名で記載

保岡クリニック論田病院